



# STAR'S REPORT

---

2009年2月期 中間報告書

## 株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。また、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに2009年2月期中間期(2008年3月1日から2008年8月31日まで)の事業の概況についてご報告申し上げます。

2008年11月



取締役社長

鈴木俊弘

### 1 当中間期の業績について

当中間期の連結売上高は前年同期比6.8%減の323億9百万円となりました。利益につきましては、工作機械と小型プリンタの売上減少などにより、営業利益は同15.2%減の54億9千6百万円、経常利益は同13.6%減の58億6千7百万円、中間純利益は同16.3%減の33億1千8百万円となりました。

コンポーネント事業は順調に推移したものの、これまで業績を牽引してきた工作機械事業や特機事業における減収が大きく影響しました。

### 2 好調に推移したコンポーネント事業の状況について

コンポーネント事業の主力市場である携帯電話向けでは、加入者の増加により中国、インドなどの市場が成長するなか、小型でかつ高性能な製品群が昨年後半から各種モデルに採用されたことにより、順調に売上を伸ばしました。

前期にローエンド機種向けに売上を伸ばしたレシーバー

## Contents

トップメッセージ	1	連結財務諸表〔要約〕	9
連結業績ハイライト	4	単体財務諸表〔要約〕	12
ニュース&トピックス	5	会社の概況	13
事業別の概況	7	株式の状況	14

は、数量ベースで前年同期に比べ約3割増加しました。スピーカーも従来の製品に加え、前期量産化した新製品が順調に売上を伸ばし、数量ベースで約2倍の増加となりました。一方、電子ブザーは、自動車関連市場向けへの販売拡大を図ったものの、前年同期並みの売上となりました。生産面では、拡大する需要に対応するため、中国の生産工場能力増強と品質改善に努めました。

### 3 その他の事業の状況について

工作機械事業は、米国では景気の変動を受けにくい医療機器分野や南米向けの受注増加により売上は増加したものの、欧州の景気減速に加え、高水準で推移した前期の反動もあり売上が減少したため、事業全体では減収となりました。

特機事業の小型プリンタは、欧米での景気鈍化に加え為替の影響もあり売上は減少しました。また、事業中止を決定した大型プリンタも売上が減少しました。

精密部品事業では、腕時計部品は厳しい市場環境ながら売上は前年同期に比べ若干増加しました。一方、非時計部品は、医療や光通信関係、また中国での自動車関連部品などの売上が堅調に推移しましたが、HDD部品は携帯型音楽プレーヤー向けの売上が伸びず、減収となりました。

### 4 通期の見通しについて

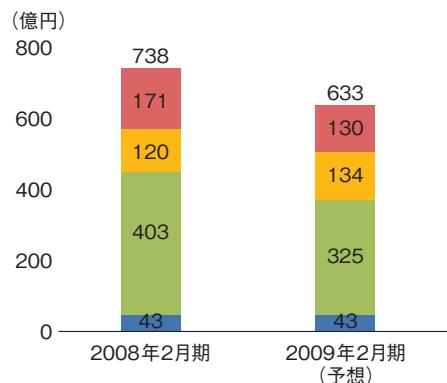
ここ数年、好調に推移してきた世界経済は、金融不安や原油をはじめとした資源価格の高騰などの影響を受け、先行き不透明感が増えています。

このような状況下における各事業の見通しですが、特機事業については、新製品の投入と欧米市場での販売ルートへの拡充・強化や新興国での市場開拓を進めるものの、欧米を中心に景気の先行き不透明感による個人消費と設備投資の減退や為替の影響により、売上は減少を見込んでいます。また、営業利益は売上の減少に加え、大型プリンタ部門の事

#### 2009年2月期見通し

##### セグメント別売上高

(■特機事業 ■コンポーネント事業 ■工作機械事業 ■精密部品事業)



業縮小による影響もあり大幅な減益となる見込みです。

コンポーネント事業については、携帯電話市場がアジア地域などで需要が増加するなか、引き続きスピーカーを中心に売上・営業利益ともに増加する見込みです。

工作機械事業については、新製品の投入やサービス体制の強化を行うとともに、新興国市場ではより積極的に営業活動を進めるものの、欧州地域を中心とした売上台数の減少や為替の影響もあり、売上・営業利益ともに減少を見込んでいます。

精密部品事業については、売上の増加を図るべく新規製品の受注を目指すものの、腕時計部品などの売上が減少し、営業利益も、売上の減少や先行投資による経費の増加もあり減少を見込んでいます。

以上により、通期の連結業績については、売上高は前期比14.3%減の633億円、営業利益は同35.8%減の94億円、経常利益は同34.4%減の99億5千万円、当期純利益は同22.0%減の63億円となる見通しです。

## 5 株主の皆様へ

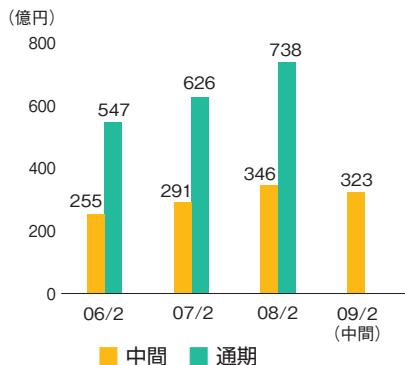
残念ながら減収減益の中間決算となりましたが、株主の皆様への利益還元としまして当期の中間配当は、前期の中間配当に比べ4円増配の30円とさせていただきます。また、期末配当につきましても前期末と同額の30円を予定しております。

今後とも業績の一層の向上と企業価値の増大に向け、グループ丸となって努力してまいります。

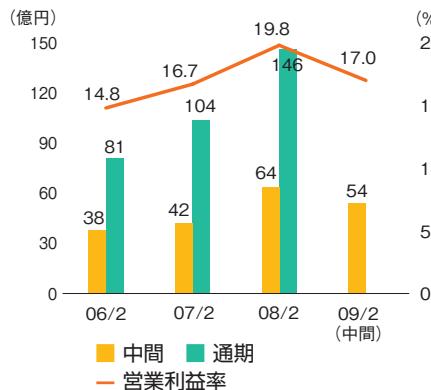
株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。



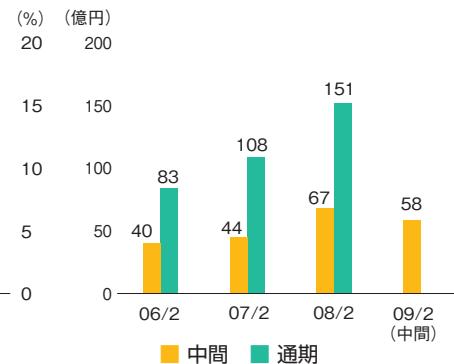
売上高



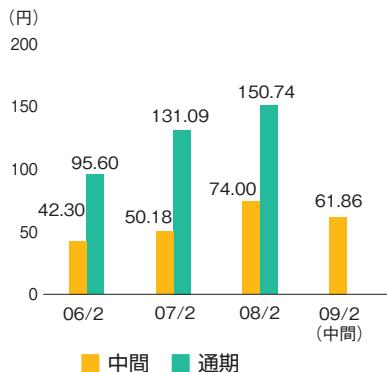
営業利益／営業利益率



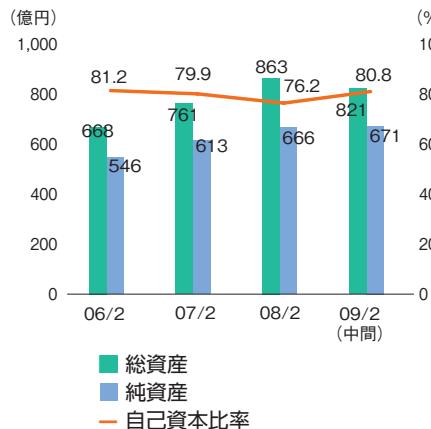
経常利益



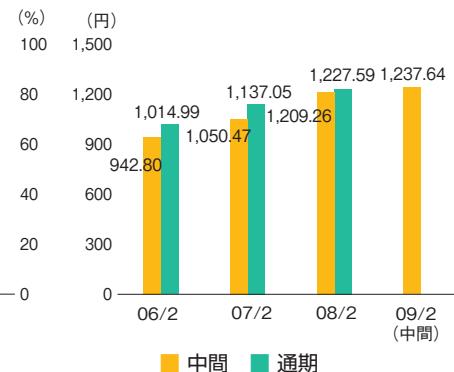
1株当たり純利益



総資産／純資産／自己資本比率



1株当たり純資産



(注) 会社法施行に伴い、2006年2月期以前については、従来の「株主資本」を「純資産」に変更し、必要な数値調整を行っております。

## TOPICS 01

### スウェーデンに工作機械販売子会社を設立

2008年4月、工作機械部門の販売子会社としてスウェーデン・ヴァグゲリードにスターマイクロニクス・ABを設立しました。

スウェーデンは、北欧最大の市場であり、工作機

械部門の欧州の販売子会社としては、これまでのスイス、イギリス、ドイツ、フランスに加え、5社目となります。今回の子会社設立により、北欧における直販体制を確立し、一層の販売拡大を目指します。



スターマイクロニクス・AB

## TOPICS 03

### CSR活動

CSR活動の一環として例年継続している団体献血への協力をはじめ、地元海岸の清掃奉仕活動、ライトダウンキャンペーンへの参加を行いました。団体献血は2008年6月に3つの事業所にて実施し、多数の従業員が協力させていただきました。

同じく6月に行われた静岡県環境保全推進協会主催の三保真崎海岸清掃には従業員の有志とその家族が参加しました。当日は、会員企業66社から1,240名が参加し、約1時間の作業で可燃ゴミ1,410キロ、不燃ゴミ820キロが回収されました。

また、温暖化防止のため環境省が呼びかけるライトアップ施設等の電気を消すライトダウンキャンペーンに2008年7月4日から7日の4日間参加し、本社、庵原、富士見の各事業所にある屋上広告塔を夜8時に消灯しました。

## TOPICS 02

### 環境に配慮した塗装方法を導入

工作機械の塗装方法として新たに「粉体塗装」と呼ばれる技術を当社子会社であるオーエスメタル株式会社にて導入しました。「粉体塗装」とは、粉末状の塗料を帯電させて噴霧し、製品に付着させた後に加熱して定着させることで塗装を行う環境に配慮した塗装方法として、近年注目されている技術です。従来の溶剤塗料に比べ、大気汚染物質である揮発性有機化合物(VOC)の排出を半減し、産業廃棄物の1/3が削減されます。順次この塗装方法を適用する種類の拡大を図っています。



粉体塗装ライン



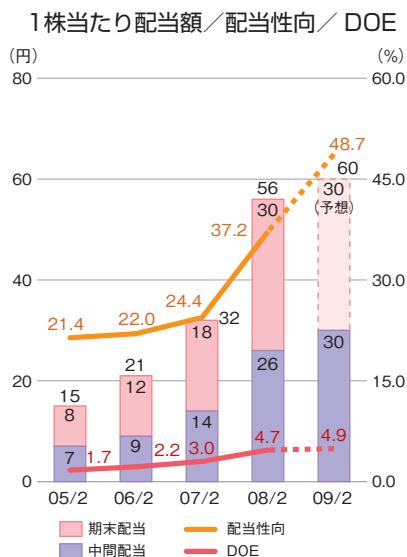
三保真崎海岸清掃の様子

## ● 株主還元

### 当期の配当および利益配分に関する 基本方針について

当中間期の配当は、前期の中間配当に比べ4円増配の30円とさせていただきます。期末の配当につきましては、前期末と同額の30円を予定しており、これにより当期の年間配当は前期に比べ4円増配の60円(配当性向48.7%)となります。

利益配分につきましては、現金配当を主体としながら、配当と自己株式取得の合計額の連結純利益に対する比率である「株主還元性向」の中期的な目標を60%とし、機動的に自己株式取得・消却を行っていく方針です。また、資本効率と配当性向を勘案したDOE(株主資本配当率)も合わせて考慮していきます。



## ■ 新製品紹介 ■

### 小切手処理に最適なハイブリッドプリンタを発売

ドットインパクトプリンタとサーマルプリンタを一体化したハイブリッドプリンタ「HSP7000」シリーズの販売を2008年6月から開始しました。

欧米においては、個人での小切手による決済が広く普及しています。その処理の際、小切手に印字するためのドットインパクトプリンタに加え、レシート発券用としてサーマルプリンタが必要となります。今回の新製品はこの2つの異なる印字方式を1つの筐体に盛り込んだものです。欧米の大手スーパーやデパート、銀行システムでの利用が期待されます。



「HSP7000」シリーズ

### コストパフォーマンスに優れた複合加工機を発売

CNC自動旋盤の複合加工機「SR-20J」の販売を2008年5月から開始しました。

今回の新製品は、当社の上位機種が持つ基本性能を有しながらも、機能を絞り込むことでリーズナブルな価格を実現しています。スラント型すべり案内面構造の高剛性刃物台を持ち、100mmの深穴加工に対応できるなどワンランク上の性能が特長です。

長尺部品の加工に優れたスイス型(typeC)に加え、短尺部品の加工に優れたノンガイドブッシュタイプ(typeN)も設定し、ラインアップも充実しています。



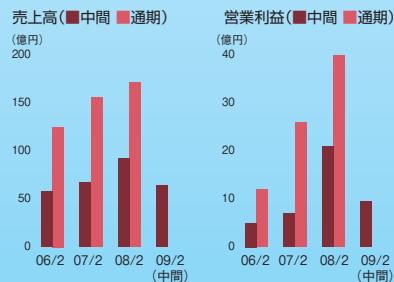
SR-20J typeC



## ▶▶ 特機事業

小型プリンタは、主力の欧米市場に加え、需要が伸びている新興国市場での受注獲得を目指し、ここ数年充実してきた製品ラインアップをベースに、代理店網の見直し・強化による一般代理店向け販売の拡大を目指すなど、売上の増加に向けて営業活動を展開しました。しかしながら、世界経済の先行き不透明感が強まるなか、POS市場などで設備投資意欲が減退するなど厳しい事業環境が続くとともに為替の影響もあり、売上は減少しました。また、事業中止を決定した大型プリンタも売上が減少しました。

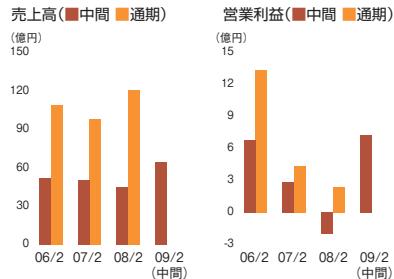
以上の結果、当事業の売上高は64億2千3百万円(前年同期比30.8%減)、営業利益は売上の減少などにより9億4千1百万円(前年同期比56.1%減)と大幅な減少を余儀なくされました。

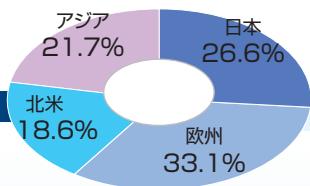


## ▶▶ コンポーネント事業

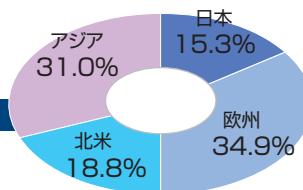
当事業の主力市場である携帯電話向けでは、中国、インドなどの市場が加入者の増加により成長するなか、小型でかつ高性能な製品群が昨年後半から各種モデルに採用されたことにより、順調に売上を伸ばしました。前期にローエンド機種向けに売上を伸ばしたレシーバーは、数量ベースで前年同期に比べ約3割増加しました。スピーカーも従来の製品に加え、前期量産化した新製品が順調に売上を伸ばし、数量ベースで約2倍の増加となりました。一方、電子プザーは、自動車関連市場向けへの販売拡大を図ったものの、前年同期並みの売上となりました。生産面では、拡大する需要に対応するため、中国の生産工場の能力増強と品質改善に努めました。

以上の結果、当事業の売上高は64億7千3百万円(前年同期比41.1%増)となりました。営業利益につきましては、売上の増加などにより前期の営業損失から7億2千9百万円と大幅に改善しました。





■ 海外売上高構成比(%)



## ▶▶ 工作機械事業

CNC自動旋盤では、景気の不透明感が世界的な広がりを見せるなか、主力の欧米市場や成長著しい新興国市場で顧客の開拓を進めるとともに、欧州でのサービス体制の充実や新興国市場での現地技術スタッフの増強、国内では代理店網の強化に努めました。

米国では、景気動向の影響の少ない医療機器分野や南米向けの受注増加により、為替の影響を受けながらも売上は増加しましたが、欧州では景気減速の影響による設備投資意欲の減退に加え、大幅に伸びた前期の反動もあり売上は減少しました。また、アジアでも中国では金融引き締め策などの影響を受け、国内も自動車関連からの受注が低迷するなど厳しい状況となりました。

以上の結果、当事業の売上高は172億8千万円(前年同期比7.2%減)、営業利益は売上の減少などにより46億2千9百万円(前年同期比13.7%減)となりました。



ECAS-20T



SR-20R III



SR-32J typeN



## ▶▶ 精密部品事業

腕時計部品は、時計市場の縮小傾向が続くなか、材料の高騰などもあり厳しい市場環境となりましたが、売上は前年同期に比べ若干増加しました。一方、非時計部品は、医療や光通信関係、また中国での自動車関連部品などの売上が堅調に推移しましたが、HDD部品は携帯型音楽プレーヤー向けの売上が伸びず、減収となりました。

以上の結果、当事業の売上高は21億3千1百万円(前年同期比2.6%減)、営業利益は売上の減少などにより3億3千万円(前年同期比30.6%減)となりました。



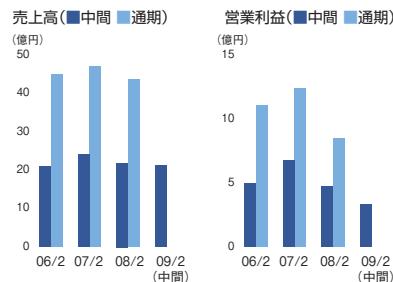
腕時計部品



HDD 他各種デジタル関連機器用部品



医療用部品



連結貸借対照表			
	単位：百万円		
科目	当中間期 2009年2月期中間	前期 2008年2月期	前中間期 2008年2月期中間
<b>資産の部</b>			
流動資産	59,498	63,235	58,184
現金及び預金	19,657	22,421	22,108
受取手形及び売掛金	16,907	18,307	16,586
有価証券	2,929	2,809	611
たな卸資産	15,849	15,436	14,521
その他の流動資産	4,154	4,260	4,356
固定資産	22,670	23,139	23,254
有形固定資産	17,104	17,727	16,798
無形固定資産	670	708	1,435
投資その他の資産	4,895	4,703	5,020
資産合計	82,169	86,375	81,439
<b>負債の部</b>			
流動負債	14,347	19,077	15,083
支払手形及び買掛金	6,060	7,910	6,873
その他の流動負債	8,286	11,166	8,210
固定負債	674	696	797
退職給付引当金	32	30	27
その他の固定負債	641	666	770
負債合計	15,021	19,773	15,881
<b>純資産の部</b>			
株主資本	67,024	65,293	62,541
資本金	12,721	12,721	12,721
資本剰余金	13,967	13,961	13,952
利益剰余金	41,036	39,327	36,605
自己株式	△ 701	△ 717	△ 738
評価・換算差額等	△ 616	549	2,282
その他有価証券評価差額金	316	390	695
為替換算調整勘定	△ 932	159	1,587
少数株主持分	739	758	734
純資産合計	67,147	66,601	65,558
負債純資産合計	82,169	86,375	81,439

連結損益計算書		単位：百万円		
科目	当中間期 2009年2月期中間	前中間期 2008年2月期中間	前期 2008年2月期	
売上高	32,309	34,680	73,883	
売上原価	19,010	19,856	42,206	
売上総利益	13,298	14,824	31,677	
販売費及び一般管理費	7,802	8,344	17,025	
営業利益	5,496	6,479	14,651	
営業外収益	403	414	899	
受取利息	292	285	653	
受取配当金	31	32	57	
特許収入	36	44	77	
雑収入	42	52	110	
営業外費用	32	101	380	
支払利息	1	0	0	
投資有価証券評価損	11	11	59	
為替差損	16	62	277	
雑損失	3	26	42	
経常利益	5,867	6,792	15,170	
特別利益	12	106	257	
固定資産売却益	12	15	159	
貸倒引当金戻入額	—	0	7	
損害補償金	—	90	90	
その他	—	0	0	
特別損失	84	82	1,047	
固定資産処分損	84	82	199	
減損損失	—	—	721	
事業整理損	—	—	126	
税金等調整前中間(当期)純利益	5,795	6,817	14,381	
法人税、住民税及び事業税	2,499	3,078	5,977	
法人税等調整額	△68	△285	212	
少数株主利益	46	60	111	
中間(当期)純利益	3,318	3,965	8,080	

連結キャッシュ・フロー計算書				単位：百万円
科目	当中間期 2009年2月期中間	前中間期 2008年2月期中間	前期 2008年2月期	
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,039	3,909	10,666	
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,190	△ 3,258	△ 8,072	
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,608	△ 788	△ 2,151	
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 101	41	185	
現金及び現金同等物の増減額(減少:△)	△ 2,860	△ 95	628	
現金及び現金同等物の期首残高	21,824	21,196	21,196	
現金及び現金同等物の中間期末(期末)残高	18,963	21,100	21,824	

連結株主資本等変動計算書 (2008年3月1日から2008年8月31日まで)						単位：百万円
	株主資本					株主資本合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式		
2008年2月29日残高	12,721	13,961	39,327	△ 717		65,293
中間連結会計期間中の変動額						
剰余金の配当			△ 1,609			△ 1,609
中間純利益			3,318			3,318
自己株式の取得				△ 1		△ 1
自己株式の処分		5		17		23
株主資本以外の項目の中間連結会計期間中の変動額(純額)						
中間連結会計期間中の変動額合計	—	5	1,709	16		1,730
2008年8月31日残高	12,721	13,967	41,036	△ 701		67,024

	評価・換算差額等			少数株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	評価・換算差額等合計		
2008年2月29日残高	390	159	549	758	66,601
中間連結会計期間中の変動額					
剰余金の配当					△ 1,609
中間純利益					3,318
自己株式の取得					△ 1
自己株式の処分					23
株主資本以外の項目の中間連結会計期間中の変動額(純額)	△ 73	△ 1,091	△ 1,165	△ 19	△ 1,184
中間連結会計期間中の変動額合計	△ 73	△ 1,091	△ 1,165	△ 19	545
2008年8月31日残高	316	△ 932	△ 616	739	67,147



貸借対照表		単位:百万円		
科 目	当中間期 2009年2月期中間	前 期 2008年2月期	前中間期 2008年2月期中間	
<b>資産の部</b>				
流動資産	34,895	34,447	33,556	
現金及び預金	7,123	5,905	6,956	
受取手形及び売掛金	11,792	12,565	13,624	
有価証券	2,899	2,696	498	
たな卸資産	7,997	7,598	7,277	
その他の流動資産	5,082	5,682	5,200	
固定資産	27,280	27,849	28,033	
有形固定資産	9,317	9,614	9,513	
無形固定資産	368	407	355	
投資その他の資産	17,595	17,827	18,164	
資産合計	62,176	62,297	61,590	
<b>負債の部</b>				
流動負債	9,600	10,835	10,499	
買掛金	6,263	7,188	6,776	
未払法人税等	1,391	1,385	1,796	
その他の流動負債	1,945	2,261	1,926	
固定負債	572	604	710	
その他の固定負債	572	604	710	
負債合計	10,173	11,439	11,209	
<b>純資産の部</b>				
株主資本	51,686	50,467	49,685	
資本金	12,721	12,721	12,721	
資本剰余金	13,967	13,961	13,952	
利益剰余金	25,698	24,501	23,749	
自己株式	△701	△717	△738	
評価・換算差額等	316	390	695	
純資産合計	52,002	50,857	50,380	
負債純資産合計	62,176	62,297	61,590	

損益計算書		単位:百万円		
科 目	当中間期 2009年2月期中間	前中間期 2008年2月期中間	前 期 2008年2月期	
売上高	21,561	25,394	49,979	
売上原価	14,897	16,962	33,938	
売上総利益	6,664	8,432	16,040	
販売費及び一般管理費	4,206	4,514	8,863	
営業利益	2,457	3,918	7,176	
営業外収益	2,080	1,176	1,408	
営業外費用	42	183	424	
経常利益	4,496	4,911	8,160	
特別利益	2	100	183	
特別損失	63	37	233	
税引前中間(当期)純利益	4,435	4,973	8,111	
法人税、住民税及び事業税	1,602	1,882	2,745	
法人税等調整額	26	△10	118	
中間(当期)純利益	2,806	3,102	5,247	

## 株主資本等変動計算書 (2008年3月1日から2008年8月31日まで)

単位:百万円

	株主資本					評価・換算差額等 その他有価証券評価差額金	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計		
2008年2月29日 残高	12,721	13,961	24,501	△717	50,467	390	50,857
中間会計期間中の変動額							
剰余金の配当			△1,609		△1,609		△1,609
中間純利益			2,806		2,806		2,806
固定資産圧縮積立金の取り崩し			-		-		-
自己株式の取得				△1	△1		△1
自己株式の処分		5		17	23		23
株主資本以外の項目の中間会計期間中の変動額(純額)						△73	△73
中間会計期間中の変動額合計	-	5	1,197	16	1,219	△73	1,145
2008年8月31日 残高	12,721	13,967	25,698	△701	51,686	316	52,002



### 会社概要

設立	1950年7月6日
資本金	127億2千1百万円
従業員数	648名 <small>(注)契約社員等の年間平均雇用人員159名を除いております。</small>
営業品目	1.特機(大型プリンタ、小型プリンタ、カードリーダー) 2.コンポーネント(電子ブザー、マイクロフォン、スピーカー、レシーバー) 3.工作機械(CNC自動旋盤等工作機械) 4.精密部品(腕時計部品、通信機器用・自動車用・医療用等部品)

### 役員

代表取締役社長	鈴木 俊弘	監査役(常勤)	澤田 博行
専務取締役	佐藤 肇	監査役	伊東 勝治
常務取締役	興津 智彦	監査役	山田 修
取締役	伏見 千秋	<small>(注)監査役3氏は、いずれも会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。</small>	
取締役	城島 里見		
取締役	田中 博		
取締役	倉前 隆		
取締役	村上 淳一		
取締役	佐藤 衛		

### 事業所

■本社	〒422-8654 静岡県静岡市駿河区中吉田20-10 TEL.054-263-1111
■特機事業部 庵原工場	〒424-0066 静岡県静岡市清水区七ツ新屋536 TEL.054-347-0111
■コンポーネント事業部 庵原工場	〒424-0066 静岡県静岡市清水区七ツ新屋536 TEL.054-347-1900 TEL.03-5987-2855
品質技術センター	〒422-8001 静岡県静岡市駿河区中吉田18-12 TEL.054-263-1303
■機械事業部 菊川工場	〒439-0023 静岡県菊川市三沢字北ノ谷1500-34 TEL.0537-36-5511
東京営業所	〒179-0074 東京都練馬区春日町3-34-26 ユウトメモリアル1-2F TEL.03-5987-2855
大阪営業所	〒532-0003 大阪府大阪市淀川区宮原4-1-45 新大阪八千代ビル6階 TEL.06-6395-1559
名古屋営業所	〒465-0043 愛知県名古屋市長区東宝が丘25 グローバル25 5-A TEL.052-777-1505
諏訪営業所	〒392-0012 長野県諏訪市大字四賀2258-7 TEL.0266-58-8132
■精密部品事業部 富士見工場	〒424-0065 静岡県静岡市清水区長崎391 TEL.054-346-0234

### STAR GROUP NETWORK

#### 主な海外子会社

会社名 / 所在地	資本金	出資比率	区分
スターマイクロニクス アメリカ・INC (SMA) アメリカ・ニュージャージー	6,000千米ドル	100% (100)	販売会社
スターマイクロニクス アジア・LTD (SMH) 香港・九龍湾	1,000千香港ドル	100%	販売会社
スターマイクロニクス ヨーロッパ・LTD (SME) イギリス・ハイウィッカム	4,600千英ポンド	100%	販売会社
天星精密有限公司 香港・九龍湾	1,000千香港ドル	70%	生産会社
斯大精密(大連)有限公司 中国・大連市	67,885千米ドル	100% (2)	生産会社
スターマイクロニクス・AG (SMAG) スイス・チューリッヒ	5,000千スイスフラン	100%	販売会社
スターマイクロニクス GB・LTD (SMGB) イギリス・ダービーシャー	130千英ポンド	100%	販売会社
スターマイクロニクス・GmbH (SMGH) ドイツ・ノイエンビュルク	3,941千ユーロ	100%	販売会社
スター CNC マシンツール Corp. (SMTC) アメリカ・ニューヨーク	1米ドル	100% (100)	販売会社
スターアメリカ ホールディング・INC (SAH) アメリカ・デラウェア	10,000千米ドル	100%	持株会社
上海星榮精機有限公司 中国・上海市	21,520千人民元	60%	生産会社
スターマシントール フランス・SAS (SMTF) フランス・オートサボア	350千ユーロ	100% (100)	販売会社
上海星昂機械有限公司 中国・上海市	2,482千人民元	100%	販売会社
スターマイクロニクス(タイランド)Co., LTD (SMTL) タイ・サムトラブカーン	4,000千タイバーツ	49%	販売会社
S&K プレジジョン テクノロジーズ(タイランド)Co., LTD (S&K) タイ・アユタヤ	120,000千タイバーツ	70%	生産会社
スターマイクロニクス・AB (SMAB) スウェーデン・ヴァッゲリッド	1,000千スウェーデンクローナ	100% (100)	販売会社

(注)出資比率の欄の( )内は、間接所有割合。

#### 国内子会社

会社名	所在地	資本金	出資比率	区分
株ミクロ岳美	静岡県静岡市	10百万円	100%	生産会社
東新精機株	静岡県菊川市	10百万円	100%	生産会社
株ミクロ札幌	北海道石狩市	250百万円	100%	生産会社
株ミクロ富士見	静岡県静岡市	15百万円	100%	その他
オーエスマタル株	静岡県菊川市	30百万円	100%	生産会社
株ミクロ菊川	静岡県菊川市	50百万円	100%	生産会社

株式状況

発行可能株式総数	158,000,000株
発行済株式総数	54,533,234株*
株主数	11,978名
1人平均持株数	4,553株
当期中の名義書換件数	161件
当期中の名義書換株式数	276,885株

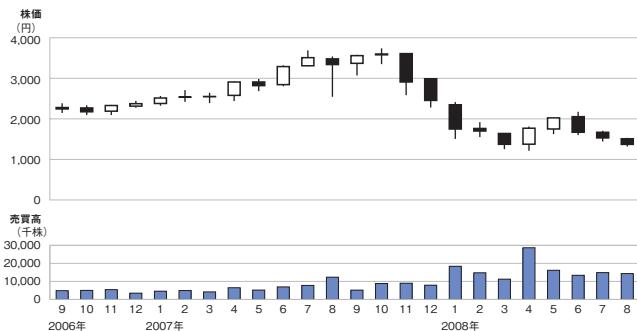
\*2008年10月16日に当社普通株式3,500,000株を消却しましたので、同日現在の発行済株式総数は、51,033,234株となっております。

大株主(上位10名)

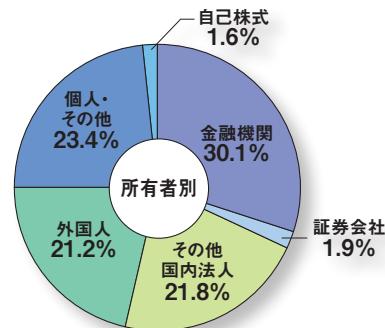
	持株数(千株)	出資比率(%)
シチズンホールディングス(株)	8,658	16.1
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口)	4,921	9.2
日本マスタートラスト信託銀行(株)(信託口)	2,035	3.8
(株)静岡銀行	1,582	2.9
ゴールドマン サックス インターナショナル	1,529	2.9
(株)みずほ銀行	1,348	2.5
資産管理サービス信託銀行(株)(証券投資信託口)	1,146	2.1
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口4G)	1,058	2.0
リズム時計工業(株)	1,006	1.9
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー 505019	898	1.7

※出資比率は、自己株式を控除して計算しております。

株価および株式売買高の推移(東京証券取引所)



所有者別分布状況





事業年度	毎年3月1日から翌年2月末日まで
定時株主総会	毎年5月
配当の受領株主確定日	期末配当 2月末日 中間配当 8月31日
定時株主総会の基準日	毎年2月末日
株主名簿管理人	東京証券代行株式会社 本店
事務取扱場所	東京都千代田区大手町二丁目6番2号(日本ビル4階)
同取次所	中央三井信託銀行株式会社本店および全国各支店
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目7番1号 東京証券代行株式会社 代行本部
お問合わせ先	 0120-49-7009
上場金融商品取引所	東京証券取引所市場第一部
公告方法	電子公告により行います。ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は日本経済新聞に掲載します。 公告掲載URL( <a href="http://www.star-m.jp">http://www.star-m.jp</a> )
単元株式数	100株
単元未満株式買取請求および買増請求	単元未満株式の買取請求および買増請求は、当社株主名簿管理人において受付けておりますので、上記までお問い合わせください。

### 諸届用紙のご請求

住所変更・改印等の変更届、配当金振込指定書、単元未満株式(端株)買取請求書および株式名義書換請求書等の諸届出に使用いたします用紙のご請求につきましては次の方法もご利用になれます(24時間、土・日祝祭日もお受けいたします)。

- 電話を利用した自動音声応答による受付

 0120-16-5805

- インターネットによる用紙のご請求

東京証券代行株式会社のホームページにおいて、用紙の印刷およびインターネットメールによる用紙のご請求がご利用になれます。

<http://www.tosyodai.co.jp>

「株式に関する用紙のご請求」、「株式に関する手続きのご案内」、「株式に関する手続きのQ&A」をご参照ください。

## スター精密株式会社

〒422-8654 静岡県静岡市駿河区中吉田20-10

TEL.054-263-1111 FAX.054-263-1057

<http://www.star-m.jp>

